



市民病院通信

パートナーシップ・ナーシング

医療現場では、どんどん新しい治療や医療器械などが導入されて進歩しており、より高度な知識や技術が看護師にも求められるようになってきています。一昔前、看護師は一人前になるまでに1年かかるといわれていました。しかし、最近ではとも1年で一人前とはいえず、3年はかかる状況です。

診療科によって扱う疾患や特殊性が違うため、ベテラン看護師でも部署が変わるとたくさんのことを新たに覚える必要があります。また、新人看護師や育児休暇明けで職場復帰する看護師、他の病院から変わってきた看護師は、新たな環境でやっていけるか不安を感じていました。そこで、当院ではどの看護師も安心して看護できるように、27年度から病棟にパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）を導入しました。

ペアで補い合って看護することで、ミスを防ぎやすくなったり、2人で協力して仕事をするためタイムマネジメントの意識が高まり、時間外勤務が減ったりします。経験の浅い看護師は、ベテラン看護師の知識や技術などを直接見て学ぶこともでき、効率良く看護の技が伝授されます。患者からも、2人で受け持ってもらい安心という意見を聞いています。これまで、新人看護師は就職して3か月程度で独り立ちし、1人で患者を受け持っていました。分らないことも多く、不安も強かったですが、PNSになってからは安心して看護できるという意見も聞いています。

しかし、相手に依存してしまつと、PNSは成立しません。経験に差があつても、お互いに自立した看護師として、自分の意見を伝え合うことが大切です。このことは、研修を行いしっかりと学ぶようにしています。

これから皆さんに安全で安心な医療を受けていただくため、人材育成と働きやすい職場づくりに努めていきます。

市民病院看護管理室（☎56・3171）

市民病院Q&A

Q インフルエンザの流行は、いつ頃までですか。この時期に注意すべき感染症は何ですか？

感染管理認定看護師 青木美由紀

A 現在流行しているインフルエンザは、流行の始まりが遅く2月に入って急激に感染者が増えたことと、A型とB型が同時に流行したことで、流行の終息が遅くなると考えられます。特に愛知県は国内で一番インフルエンザの発症者が多かったため、感染が断ち切れるまでに時間がかかると思われます。



春は昼間と夜の気温差が大きく、新生活で生活のリズムも変わるため、体調を崩しやすい季節です。暖かくなり感染症に対する意識が低くなりがちですが、引き続き手洗いやうがいでの予防に努めてください。また、屋外で仕事や活動をする際は、蚊などの虫に刺されないように、虫除けスプレーを活用し、長袖・長ズボンでできるだけ肌を露出しない工夫が必要です。虫に刺された後、高熱や発疹などの症状があれば、早めにかかりつけ医へ受診してください。受診時に「〇月〇日、野山に行き、草むらで作業した」などと医師に伝えると、診断の手掛かりになります。

8月には、ブラジルでオリンピックが開催されます。渡航する方は、ジカ熱にご注意ください。

市民病院管理課（☎56・3171）